

## 令和5年度 入学説明会校長あいさつ

保護者の皆さまこんにちは。校長の吾孫子公美と申します。本日は、ご多用の折、入学説明会においでいただき、ありがとうございます。4月から、私たちと皆さまは、「大切なお子さんを育てる」という同じ目標を持った、いわば「同士」だと言えます。ぜひ、連携を密に取り合い、お互いを尊重しながら、子ども達が「かしこく、やさしく、たくましく」成長できるよう、ともに頑張っていきましょう。

では、宮富小学校のことをお話します。現在53人の児童と、12人の職員がいます。令和6年度の4月に8人の1年生が入学すると、全校児童は今年度より2人増えます。2年生が18人、3年生が9人、4年生が8人、5年生が6人、6年生が6人で合計55人になります。肝付町で一番大きい小学校は、全児童が450人を超える高山小学校です。それに比べると、本校は小さな学校といえます。大きな学校には大きな学校の、小さな学校には小さな学校の良さがあります。本校は、小さな学校の良さを生かした学校運営をしています。

校訓は、先程申し上げた、「かしこく、やさしく、たくましく」です。

学校教育目標は、「心豊かで確かな学力とたくましく生きる力をもつ宮富の子どもを育てる」。サブテーマは、

「次年度の子どもの姿を意識し、長期的見通しをもった教育活動の推進」です。

私は、今年度4月に新任校長として本校に赴任しました。中学校に勤務して35年、36年目に初めて小学校で仕事をして、「中1ギャップ」といわれる中学校1年生の最初のつまずきを、小学校からの視点で考えることができました。なので、小学校1年生からの積み上げを大切に、中学校1年生までを見通した教育活動を推進したいと考えています。

めざす子どもの姿、めざす教師の姿は、資料をご覧ください。本校職員は、それぞれの専門性において経験豊富で、日々、自己研鑽に努めています。そして、保護者の皆さまと連携を図りながら、子どもに寄り添い、きめ細やかな指導を実践しています。資料のスナップ写真をご覧ください。小さな学校である、宮富小の良さがお分かりいただけると思います。

最後に、保護者の皆さまにお伝えしたい思いがあります。本校の教育活動の柱として、「人権を尊重する環境づくり」を設定しています。

「みつめる」「思いを巡らす」「向き合う」この3つを、全職員が児童と関わる時の基本姿勢としています。子ども達が、「自分を好きである」「自分は今の自分でいい」という肯定感や、「教室や学校に安心できる居場所があり、友達や先生に認められている」「自分は誰かの役に

立てている」という有用感を持てる人間になってほしい。そのために、「1日の大半を学校で過ごす子どもたちの姿を全職員で見守っていききたい」と考えています。ご家庭でも「ありがとう」を伝える場面をたくさんつくり、「ほめる言葉のシャワー」をたくさんかけてください。そして、たくさん抱きしめてあげてください。

子ども達にとっての6年間は、晴れの日ばかりではなく、曇りや雨、何も見えない霧の日もあるでしょう。心にブレーキがかかったり、爆発を抑えきれなかったりする時があるかもしれません。原因は様々で、子ども自身分からないこともあります。そんな時は、慌てずに、子どもに寄り添って子どもの本当の声を聴く時間をつくりましょう。もちろん、私たちも小さな学校の良さを生かして、全職員が協力して一緒に手立てを考えていきます。ご意見やご相談がありましたら、いつでもご連絡ください。

「大切なお子さんを育てる」という同じ目標を持った、「同士」として、手を取り合ってお子さんを育てていきますようお願いし、校長のあいさつといたします。